広報 おんな ONNA

MARCH 2009

3

No.333

広報おんな 3月号（No.333） 発行／恩納村 〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地 編集／総務課 ☎(098)966-1200 FAX(098)966-2779 http://www.vill.onna.okinawa.jp



▲村内でも桜満開（県民の森と安富祖保育所前、２月３日）

目　次

- 野菜づくりで健康づくり
- 夢キラリ☆歌声をあなたにも～ナビーズ・コーラス
- 野球にサッカー　キャンプ真っ盛り
- クッキー作りはうまくできたかな
- 村産品を特産品に



恩納100夢☆キラリ #8

村民の数だけ夢がある。今回は村制百周年記念式典でも活躍しましたナビーズ・コーラスをご紹介します。



▲取材日に集まったナビーズ・コーラスのメンバー達

村文化協会の発足と同時に結成されましたコーラス部「ナビーズ・コーラス」。しかし、一時的な活動休止を経て、平成十六年に再びその美しい歌声を村文化祭をはじめ、村内各所に響かせています。

新たな挑戦

歌うことに興味があるメンバー四十名弱が集まり、ナビーズ・コーラスの活動を再び始動させました。部長の大役を任せられたのは知花洋子さん。



これまでは村文化祭に向け練習を積み重ね、その舞台発表が一年間の活動の締めくくりであることもありましたが、昨年の文化祭のあと、ナビーズ・コーラスは新たな挑戦を始めています。

読谷村、そして本村とも関連がある吉屋チルーの琉歌を刻んだ歌碑が今年七月、読谷村内に建立されます。その歌碑除幕を記念し、富山大学教授であった黒坂富治氏の琉歌を五線譜に乗せて歌った歌集「譚詩組歌」の歌を式典で披露する予定です。

そこで、読谷村側から声かけがあり、ナビーズ・コーラスも参加することになりました。

練習は週一回の練習日で行われていますが、数度全曲を通して練習していますが、一曲ずつメロディーが違うので、難しいようです。



昨年末、より吉屋チルー、そして琉歌を知るために、チルーとナビーの歌碑や生家の地なども巡りました。それを機に気分を高め、より今回歌う歌に愛着が湧いたと言います。

歌声をより身近に

現在は七月の吉屋チルー歌碑除幕式に向けて頑張っていますが、今後の活動について知花さんは「今は独自の活動をするには限界がありますが、今回のイベントを一つのステップにして、今後は慰問や地域の敬老会などにも参加して活動して行けたらと思います。」まだまだ不安があるようですが、今後は「様々な形で力を付けて、皆さんの前に出て行きたい。」と今後の活躍が楽しみです。



ナビーズ・コーラスは毎週月曜日、午後八時から仲泊幼稚園にて、七月の発表に向けて練習を行っております。コーラスに興味があるが、どのように練習しているのか、どうやって歌っているのか、気になった方は是非訪れてみてください。お問い合せは文化協会（商工会内）９６６−２２６９までお気軽にご連絡下さい。

「夢☆キラリ」では皆様のご意見・ご感想、取り上げてほしい人物など、お便りをお待ちしております。
総務課　FAX：966−2779 または E-mail：soumu@vill.onna.okinawa.jp まで

平成21年度 国民健康保険被保険者証交付及び国民健康保険税未納分の徴収について

下記の日程で行いますので、国民健康保険加入者のみなさまご協力お願いします。

※ 未納がある場合は、短期証交付（期限付き）になります。
※ 役場で交付を希望される方は3月10日からとなります。

交付日			場所
3月10日	火	9時30分～11時30分 13時～15時	名嘉真公民館
3月11日	水	9時30分～11時30分	安富祖公民館
		13時～14時	熱田集会所
3月12日	木	9時30分～11時30分	喜瀬武原公民館
		13時～15時	瀬良垣公民館
3月13日	金	9時30分～11時30分 13時～15時	山田公民館
3月16日	月	9時30分～11時30分	冨着公民館
		13時～15時	谷茶公民館
3月17日	火	9時30分～11時30分	宇加地公民館
		13時～15時	塩屋公民館
3月18日	水	9時30分～11時30分	前兼久公民館
		13時～15時	真栄田公民館
3月19日	木	9時30分～11時30分 13時～15時	仲泊公民館
3月23日	月	9時30分～11時30分	太田公民館
		13時～15時	南恩納公民館
3月24日	火	9時30分～11時30分 13時～15時	恩納公民館

後期高齢者医療保険加入者（75歳～）のみなさまへ

※ 後期高齢医療保険者証の切替は平成21年7月になります。
※ 保険料に納め忘れのある方は、上記の日程で納めることができます。



忘れていませんか？お子さんの予防接種



病気の流行は多くの方が接種しなければ防ぐことは出来ません。この機会に、お子さんの母子手帳にある予防接種記録を読み返し、接種忘れがないか今一度ご確認お願い致します。

平成20年度よりMRワクチン（麻しん・風しん混合ワクチン）予防接種の対象年齢が拡大されています。

2012年の麻しん排除を目標に、麻しんと風しんの定期予防接種対象が**2008年４月１日から2013年までの５年間**、第３期・第４期まで拡大されています。これまで麻しんと風しんの予防接種を１回しか受けていない年齢の子がこの期間で２回目の接種を受けることで、麻しんの流行を抑えることができます。流行を防ぐためにも、皆様がワクチンを接種し、はしかを予防して頂きたいと願います。流行防止には、**95%以上**の接種率が必要です。

１月現在の恩納村の予防接種率は　３期（中学１年に相当する年齢）　**44.6％**
４期（高校３年生に相当する年齢）　**43.2％**

予防接種を受けるには・・・



◦各指定医療機関へ直接電話予約をしてください。
◦当日は役場発行の「予防接種予診票」と「母子手帳」を持参してください。
◦**村では平成21年3月末まで、第1期（生後12～24ヵ月未満）又は第2期（小学校就学前）の予防接種を受けていない7歳6ヶ月未満までは公費負担となりますが、対象年令を過ぎますと自己負担となります。DT（小学校6年生）第3期・4期の対象の方も平成21年3月31日までが公費負担となります。この機会にぜひ接種する事をお勧めいたします。**

問い合わせ▶福祉健康課　電話 966－1207

▼ホテルのシェフらがそれぞれの食材を吟味



シェフと農家が直接食材の品質や料理法について話し合う▼



野菜作りでより健康に

地域で多くの方が野菜類を栽培している名嘉真区、仲泊のなかゆくい市場からの集荷をきっかけに、二十名ほどでグループ出荷を行っています。

昨年九月からは、沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパへも、週一回の出荷を開始しました。玉城智司総支配人は「食の安心安全の観点から地産地消を推進しており、地元農家との連携で地域活性化にも役立てたいと開始しました。」と経緯を話してくれました。

和食の板長宮里政頼さんは「やはり地元で採れたてなので、鮮度が違う。土の香りがあってすごくいい。」と話しました。

仲嶺区長は「出荷回数が増え、作る楽しみが増えている。出荷するようになって、風邪をひく人なども減った感じがする。皆の会話も『昨日どこの畑に行った』などの畑談義が増えた。」と区民の元気な様子を語ってくれました。

出荷している農家は七十代や八十代の方が多く、九十才を超える方もおり「楽しみが増えたさぁー、もう暇がない。体にも気をつけるようになった。」「お家にいるより、外に出て行くことが楽しみになった。頭もぼけないしな。」「無農薬で作っていて、少し大変だが、毎日水を散布して、成長しているのを見るのが楽しみ。」と話し、自分達の作物がホテルで観光客らに出されることについては「とてもうれしい、だからまたいいものを作ろうと思うさ」と笑顔で話しました。

奨学資金に寄付

読谷協同産業株式会社（安田慶義代表取締役社長）は1月20日来庁し、村奨学資金に10万円を寄付しました。

安田社長は「心ばかりですが、ぜひ村のために協力させてください」と語り、寄付金を手渡しました。志喜屋文康村長と西銘宜寿教育長は「厳しい時勢の中、村の子ども達のために、感謝します。学力向上や生活に困っている子のために活用させていただきます」と感謝の意を伝えました。



＊村長交際費支出内訳　1月＊

沖縄感謝のタベ参加費	30,000円
沖縄感謝のタベ懇親会	20,000円
ＪＡ北部地区新春の集い会費	1,000円
建設業者会忘年会	2,000円
供花（村制功労者）	10,500円
沖縄県町村会年始式会費	5,000円
読売カップ争奪沖縄ゴルフ大会・賞品提供	15,160円
今月合計	83,660円

＊村長の主な動き　1月＊

4日　成人式
5日　新年祝賀会
6日　金武地区消防出初め式
8日　ＪＡ初荷出発式、県市町村互助会理事会
14日　自治会館管理組合臨時議会
16日　ＪＡ北部地区新春の集い
17日　読売カップ争奪沖縄ゴルフ大会表彰式
20日　読谷協同産業寄付金贈呈
21日　北部市町村会総会、国県出先機関と北部首長新年会
22日　県町村会研修会・年始式
23日　金武地区消防臨時議会
25日　小学生駅伝大会
27日　ベルマーレ平塚表敬
28日　沖縄感謝のタベ（大阪、東京30日まで）
30日　恩納分屯基地新年会

いい旧正月を

旧暦の大晦日にあたる一月二十五日、村商工会女性部は八十才以上の一人暮らしの方へ、手作りのうちなー風お節料理を届けました。

十五回目となるお節料理は恩納ライオンズクラブの協力も得て、約二十名で二日がかりで百二十食作り上げました。

仕込みから盛りつけまで、全て手作りで、盛りつけの途中で器が上下逆さまであることに気づき、入れ直す場面もあったりと、和気藹々、笑顔が絶えない中で作り上げられました。

お節には三枚肉やかまぼこ、尾頭付きの魚など、沖縄で馴染みの食材ばかり十五品目が入っていて、お年寄りでも食べやすいように柔らかく仕上げました。

當眞敏子女性部長は「旧正月を楽しんでもらうために、心ばかりのごちそうを届けようとスタートした。当初は七十名のお年寄りに届けていたが、年々健康で長生きのお年寄りが増え、今年は百二十名に届けることができた。みなさんがより一層元気でいられるよう心を込めて作りました。」と話しました。


▲一つ一つ丁寧に盛りつけられるお節料理



▲女性部が作り上げたお節料理

大学院大学進捗状況を村民に



沖縄科学技術大学院大学（仮称）の講演会（村むら興し協議会主催）が一月二十一日村コミュニティーセンターで開催され、村民など二百名が参加しました。

講師の事務局長ロバート・バックマン博士が、開学準備や大学院大学の運営委員・研究者の紹介、研究内容、今後の予定などを村民目線で、わかりやすく話しました。また、研究者らが地域イベントへの参加、村民との交流なども紹介されました。

大学院大学の施設は十一月頃一部施設が完成し、平成二十四年には開学を予定しています。

青い羽根募金で感☆謝☆状

平成20年度青い羽根募金の感謝状伝達式が2月10日、那覇市役所市長室で行われました。

本村は本年度、村民の皆様のご理解とご協力のもと、各字、希望ヶ丘管理組合、役場職員あわせて193,891円の寄付があり、社団法人日本琉球水難救済会会長（翁長雄志那覇市長）より感謝状が贈られました。今年度は合わせて12団体が表彰されました。


▲伝達式には池宮城副村長が出席した（後列左から3人目）

優勝を目指して

今年で村内でのキャンプが5年目となる韓国プロ野球三星ライオンズに対し、村産品のパッションフルーツやアテモヤなど激励の差し入れを村と県スポーツコンベンション振興協議会が行いました。

志喜屋村長らが宣銅烈監督に手渡すと、黒く日焼けした宣監督は流ちょうな日本語で「いつもたくさんの差し入れありがとうございます。天気もよく、頑張って練習しています。差し入れをたくさん食べて、元気になって、今年は絶対優勝します。」と答えました。

三星ライオンズは3月2日まで、村赤間運動公園でキャンプを行いました。



◀宣監督（中央）と志喜屋村長（右二）ら

J1を目指して

サッカーJリーグ・J2の湘南ベルマーレが一月十九日から二十九日の間、村赤間運動公園でキャンプを行いました。

ベルマーレの眞壁潔社長、反町康治監督らが二十七日志喜屋村長を訪ね、眞壁社長は「昨年はあと一歩でしたが、来年はJ1チームとして伺いたい」と話し、今年から指揮をとる反町監督も「プレッシャーを感じるが、その方がやりがいがある」と意気込みを語りました。村長は「キャンプは子供たちに喜ばれ、いい刺激になっています。キャンプの成果を土台に、J1を目指して下さい」と激励しました。

村長は村産の柑橘等を贈呈し、反町監督からは選手らのサイン入りユニフォームがプレゼントされました。


▲反町監督（右）から記念品をもらう村長


優勝した仲泊子ども会

冬空のもと疾走

村青少年健全育成協議会主催の「第七回村小学生駅伝競走大会」が二月二十五日、村コミュニティーセンター広場と海浜公園内の周回コースにて開催されました。

仲泊子ども会が二区で首位に立ちますと、その後、塩屋子ども会の区間賞三名を出す猛追を交わし逃げ切りました。

今大会は、参加チーム数が昨年の倍の十二チームに増え、大会は晴天の冬空のうち大盛況に終わりました。

結　果

優勝	仲泊子ども会
2位	塩屋子ども会A
3位	南恩納パッパラーズ

大会5連覇を果たす

村建設業者会杯第八回村少年野球新人大会が二月七日と八日の二日間、村赤間運動場で開催され、九チームが頂点を目指しました。

大差がついた試合があれば、わずか一点の勝負となった試合もあり、応援団も含めて、熱い試合が展開されました。

決勝戦は五連覇をかけた山田ジュニアクラブAと、第一回大会以来の優勝を目指す仲泊ヤンキースの一戦で、山田が仲泊を16対0の大差で下し、見事、大会5連覇を達成しました。



▲大会5連覇の山田ジュニアクラブA

結　果

優勝	山田ジュニアクラブA
準優勝	仲泊ヤンキース
個人賞	
殊勲賞	仲本大河
敢闘賞	山内脩輔
打撃賞	久場俊輔

むらの話題

もずくコロッケ 美味しい！





村漁業協同組合（金城重治組合長）と生活協同組合コープおきなわ（新垣勉理事長）、沖縄ハム総合食品株式会社（長濱徳勝社長）が3月の商品化に向けて共同開発しているもずくコロッケの試食会が2月5日、仲泊小中学校の給食時間に行われました。

村漁協はもずく販売の収益金の一部をサンゴの養殖に充てたいとしており、コープおきなわ及び沖縄ハムもその方針に賛同し、昨年10月から開発を始めました。

給食での試食は沖縄県学校給食会の協力により実現し、開発過程で、モズクの配分が最も難しく、多いとべちゃべちゃし、少ないと味がしない状態になるそうです。この日関係者らはコロッケを食べた直後の生徒らの生の声を聞きました。

プロ選手から 技術を直々に



▲ プロ選手からの一球一球を真剣に打ち返す

二月十四日、村赤間運動公園にて、第四回少年野球教室が開催されました。村内の少年野球と中学校野球部十チーム、百七十名余りが参加しました。

バッテリー組では投球フォームなど、野手組では守備と打撃にそれぞれ三星ライオンズの現役選手たちが直に指導を行いました。

参加した恩納クラブの登川雄斗くんは「直接教えてもらえてうれしかった。」と興奮気味に話し、仲泊中の山城人志くんは「正しい動きを教えてもらったので、忘れないように練習したい。」と、また金城明光くんは「今回で三回目の参加だが、徐々に自分のものにして成長していきたい。」と抱負を語りました。

閉会式で三星ライオンズからそれぞれ練習用ボール十ダースのプレゼントがありました。

グラウンドゴルフで 親睦深める



学校区内の老人会を中心に子ども見守り隊を結成するに目的で、児童生徒との交流グラウンドゴルフ大会が二月十三日、仲泊小中学校で行われました。

大会には前兼久、冨着、仲泊の老人会五十五名と小五と小六及び中一の児童生徒が参加し、それぞれ数名で一パーティーを作り楽しみました。ホールインワンが五つも出されるいい成績で、校庭のあっちこっちから歓声が上がっていました。

閉会式で長浜善巳PTA会長は「地域の子は地域で守るには、シルバーの皆さんの人材は大変に重要です。今後事件事故がなくなるよう、みんなで見守っていきたい。今日をきっかけに、子供達との交流が増やしていきたいです」とあいさつしました。



▲ おばぁたちの一打と共に一喜一憂する児童生徒ら

おいしい、おいしい、クッキーになーれ



村立三保育所では保育活動の中で食育活動に取り組んでいます。菜園での野菜作りから調理まで、様々な取組の一環として、二月十二と十三日、村食生活改善推進員の協力で、クッキー作りが行われました。

食改さんや調理師が作り上げた生地に、園児らは型抜きで一つずつクッキーを型抜きし、保育士と共に「おいしい、おいしい、クッキーになーれ」と唱えながら、クッキーの上にチョコチップを乗せていきました。

園児らはどの過程も興味津々に作業をのぞき込み、クッキーいっぱいにチョコチップを乗せた後は、残りのチョコを次々に口に運んでいました。

参加した食改さんは「孫と同じぐらいの年齢で、孫と一緒に調理する感じでとっても楽しかった。」と笑顔で話してくれました。







泣きながらも「鬼は外」

2月3日の節分の日に、安富祖保育所（大出民江所長）で豆まきが行われました。

保育士が赤鬼と青鬼に扮し、お面を付けそれぞれのクラスに出向くが、2歳児や3歳児のクラスでは、鬼の姿を見ただけで大泣きする子が続出し、保育士にしがみつく子どもがほとんどでした。

年長組でも驚いて泣き出す子がいましたが、豆代わりに丸めた新聞紙を「鬼は外、福は内」と力強く鬼に投げていました。豆まきを終えて「楽しかった」や「思いっきり投げられた」と園児らは汗だくでした。



▲ 鬼に向け力強く「鬼は外」

ウォーキングで がんじゅうに



健康教室の「出前ウォーキング講習会」が二月十五日、恩納公民館で行われました。恩納区体協の呼びかけで老若男女九十名余りが参加しました。

ウォーキングに関する基礎講義のあと、公民館から付近の農道を通り、万座毛近くの万座公園までの三キロのコースを歩きました。

スタート直後に上り坂があり、参加者からは「坂はつらいさ、きつい」などの声がありました。また「普段歩かないところで、農道は空気がよくて気持ちがいい」と話していました。

恩納体協の山城正実会長は「字内でも若い子が歩く姿が結構見られるので、今後も参加者が増えたらいいと思う」と話しました。

▲ のんびりマイペースで農道を歩く参加者

税金の重要さを知る

税金の役割を幼少時から認識し、納税は国民の大切な義務であることを理解してもらうための租税教室が一月二十八日、安富祖小学校で行われました。

今回は六年生が対象で、役場担当職員が児童一人あたりの教育費や、税金が無いとどうなるのかをわかりやすく説明していました。教室の最後は、一億円のレプリカが出され、その重さや大きさを生徒一人一人が持ち、肌で実感していました。

担当職員は、租税教室を通して、自分達の教育に多くの税金が使われている事を学び、校舎や備品等を大切に使用し、文武ともに頑張ってほしいと話していました。


一億円の重さを体感

母親の大変さを体験


ぎこちない手つきで赤ちゃんを抱っこ

今年度も思春期保健教室が村内全中学校で行われました。本教室は自らの体の成長と性の関係、また妊娠・出産する母親の大変さを知ることによって、命の大切さを知り、自己決定力を養う内容で展開されています。この日は仲泊中で赤ちゃん抱っこと妊娠体験が行われました。

妊娠体験をした喜納元気くんは「重くて身長が縮みそうだった、相撲さんみたい。」と語り、他の参加者も「靴が履きにくい」や「腰が痛い」などの声がありました。


妊娠体験で母親の気持ちを知る

日頃の学習成果一堂に


ポスターの前で発表する山田小児童

第十五回村学力向上対策推進実践発表大会が一月二十一日、ふれあい体験学習センターで行われました。

ポスターセッションが会場いっぱいに行われ、それぞれがポスターやプロジェクターを利用し、鮮やかな色使いで、わかりやすく日頃実践している内容を発表していました。また、童話大会や老人福祉作文コンクールでの受賞作品や、海外ホームステイ体験報告なども行われました。


多くの方が参観した

全校が一堂に 賑やかに

村制百周年を記念し、村内全小中学校の文化活動の高揚と、児童生徒の相互理解・交流を深める目的に、合同文化祭が二月四日ふれあい体験学習センター行われました。

舞台では村代表として各種大会に出場した皆さんが童話などを発表し、合奏や演舞を披露する学校もありました。

中学校の部では桂才賀氏を迎えて「夢をつかむまで」をテーマに講演をいただきました。桂氏はその夜、文化講演会で大人を対象に「子どもを叱れない大人達へ」と題し、これまで経験した子どもとの接し方について講演しました。


30人31脚大会の様子を発表した恩納小6年のみなさん

特産品を商品に


▲ 試食しながら意見を交わす委員ら ▼



日本でも有数の観光リゾート地で、年間200万人にも及ぶ観光客が利用している本村。しかし、村産品を加工した特産品は少ない。村商工会（當山憲一会長）は、村産品から何か特産品の開発ができないかと、昨年7月から村おこし総合活性化事業として、特産品開発委員会を立ち上げ、有限会社開発屋でぃきたんの照屋隆司氏を迎えてのワーキング委員会を数回開きました。

2月2日は村コミュニティーセンターにて、第3回委員会を開き、検討を重ねた試作品の品評会を行いました。

品評会にはパッションフルーツや、ドラゴンフルーツ、もずく、マンゴー、フクギなどをベースに開発された試作品が出展され意見交換が行われました。

今後は商品化に向け再検討し、テスト販売を経て、商品化に向け方策を模索する予定です。

琉歌談覧（だんらん）

～恩納ナビー琉歌の世界～

村博物館 館長　知念　勇

恩納嶽のぼておし下り見れば　恩納松金が手振りきよらさ

大意「恩納嶽に登って恩納ムラ方を見ると、松の枝振りが、松金の踊っている手振りのように美しい」

手振りきよらさという表現は、踊りがきれいであると同時に、松やくわいさなどの枝振りと対比して歌ったものが多い。「おし下り見れば」は（視線を）下げて見ること。恩納間切番所の手前にあった「御殿森」は松の名所であった。

松金は金武生まれであったが、父親が恩納掟であったために、青年期に恩納で暮らしていた。松金が恩納間切で暮らしていたのは、恩納間切が誕生した一六七三年の頃と言われ、ナビーが生まれのは一七〇〇年頃とされるので、二十数年前のことである。恩納ムラの若い女性達のあこがれの的であった美男子松金のことは、二十数年後のナビー達にも語りぐさになっていたにちがいない。


▲「松下の碑より恩納岳を望む」歌碑の右手に「御殿森があった」

「琉歌談覧（だんらん）」では、毎回知念館長に琉歌を一首解説していただきます。皆様の琉歌への思いや琉歌に関する情報等もお待ちしております。お便りは村総務課までお送りください。

春の全国 火災予防運動 実施

平成21年3月1日～
3月7日まで

統一標語『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』

火災の発生しやすい時季です。私たちの町や村から火災をなくするために、次の7つのポイントに気をつけましょう。

3つの習慣・4つの対策

3つの習慣
- ○**寝たばこ**は、絶対にやめる。
- ○**ストーブ**は、燃えやすい物から離れた位置で使用する。
- ○**ガスこんろ**などのそばを離れる時は、必ず火を消す。

4つの対策
- ○逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- ○寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
- ○火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**を設置する。
- ○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



火入れをするときは事前に
消防へ連絡してね。

金武地区消防本部
備えよう！住宅火災警報器

労働安全衛生法に基づく平成21年3・4・5月講習会のご案内

講習会名	受講料	定員	日時	会場	備考
アーク溶接特別教育	会員 ¥13,945 非会員 ¥16,945	40名	3/12～14	北部会館ほか	アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務
酸素欠乏危険作業特別教育	会員 ¥ 7,050 非会員 ¥10,050	60名	4/23		事業主は、酸素欠乏危険作業に係る業務に労働者を就かせるときは、特別の教育を行わなければならない
職長・安全衛生責任者教育	会員 ¥14,470 非会員 ¥19,470	60人	5/13～14		建設業、製造業、電気行、ガス業、自動車整備業、機械修理業の業種において職務に就くこととなった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者
玉掛け技能講習	免除有 ¥25,500 免除無 ¥27,500	54名	5/18～22		吊り上げ荷重1t以上のクレーン等を使用する場合の、玉掛け業務 ※ 玉掛け【玉掛け用具を用いて、荷をクレーン等のつり具に掛けたり、外したりする作業】 ※ 実技は20(水) 21(木) 22(金) いずれか一日（申込順で組み分けをします）
粉じん作業従事者特別教育	会員 ¥ 6,630 非会員 ¥ 9,630	60名	5/28		粉じん作業の業務に従事する者

※日程及び会場の詳細は必ずお問い合せ下さい。
※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意下さい。
※顔写真2枚（縦3㎝×2.4㎝ポラロイド、デジタルカメラ撮影不可）必要となりますのでお申込み時に提出して下さい。

お問い合わせ先：（社）沖縄県労働基準協会 北部支部
名護市宇茂佐1399－2(北部会館4F)
TEL 0980－54－4700

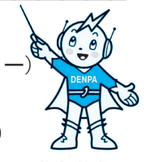
電波の安全性に関する説明会

入場無料
先着50名

日時：平成21年3月18日（水）15：00～17：00
場所：名護中央公民館小ホール（2階）

○講演1　安心して電波を利用するために
（総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課長補佐　島田淳一）

○講演2　身の回りの電波と健康について
（東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学 主任教授　山口直人）



総務省　沖縄総合通信事務所　監視調査課　(098)865－2308

OMRCこどもエコクラブ 参加者募集

１年間を通して毎月１回自然体験プログラムに参加し、身の周りの自然に触れ、自然を守る気持ちや力を養いませんか。

主　　催：OMRC（オキナワマリンリサーチセンター）
日　　程：2009年４月～2010年３月の毎月第３日曜
主な会場：ルネッサンスリゾートオキナワ 内
対　　象：小学１～６年生
（未就学児、中学生以上は参加できません）
○一年を通して参加可能な方で、自然環境について興味のある方
○親子で参加可能な方（保護者同伴が原則です。）
費　　用：**無 料** ※ただし、基本的にプログラムは現地集合・解散となるため交通費等は自己負担となります。また、プログラム開催の際に発生する入場料や材料費は各自負担となります（１回500円未満を予定しています）。
応募方法：電話で問い合わせまたはホームページ **http://www.omrc.jp/** の「トピックス」メニューから「OMRCこどもエコクラブ」を選び、応募詳細をご覧の上、お申し込み下さい。
募集期間：３月１日～３月31日（３月31日消印有効）
問い合わせ：OMRC　担当：鈴木　**965－5629**

国家公務員採用試験のお知らせ

＜大学卒業等程度＞
○国家公務員採用Ⅰ種試験
受付期間　４月１日(水)～４月８日(水)
○国家公務員採用Ⅱ種試験
受付期間 *インターネット　４月11日(土)～４月15日(水)
*郵送又は持参　４月13日(月)～４月22日(水)
＜高等学校卒業程度＞
○国家公務員採用Ⅲ種試験
受付期間　６月23日(火)～６月30日(火)
☆受験資格等については、下記にお問い合わせください。
人事院沖縄事務所 調査課 試験担当　**834－8400**
＊人事院ホームページもご参照ください。
「採用情報ナビ」**http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm**

くらしの情報
Information on living

恩納村社会福祉協議会への寄附、たいへんありがとうございました。

＊一般寄附＊
ルネッサンスリゾートオキナワ　様　40,000円
チャリティーバザーの売上金として

社会福祉法人　恩納村社会福祉協議会

必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も

沖縄県の最低賃金は平成20年10月31日から
時間額　627 円
問い合わせ：沖縄労働局 賃金室 **868－3421**まで

自然とふれあう親と子のつどい「石川岳自然観察」

石川岳に登り、植物を中心に自然を観察し、森の中で春の到来を味わうとともに、自然を愛する豊かな心を育てませんか。
日　　程：３月14日(土)　９時受付
場　　所：石川少年自然の家
対　　象：20家族（小学生以上）　50名程度
費　　用：一人あたり　150円
持ち物等：水筒、弁当、軍手、タオル、帽子、双眼鏡
服　　装：野外活動に適した服装（長袖、長ズボン）山歩きに適した靴　（川沿いを歩くので、替えの服装も準備してください）
申込方法：３月２日～11日 電話で直接申し込んでください
964－3263　担当：仲底

交通災害共済に家族そろって加入しましょう

「交通災害共済」とは
加入者が交通事故にあったとき、見舞金（1万円～100万円）を支給する制度です。加入者が自動車、バス、バイク、船舶などに同乗していた場合も該当しますので、万一の事故に備えてご家族そろっての加入をおすすめします。

加 入 金 額
赤ちゃんからお年寄りまで誰でも**1人500円**です。

手続きの方法
申込書は、掛け金を添えて役場総務課へ提出してください。ただし、**申込期間中**（2/1～3/31まで）は各字公民館でも受け付けます。
詳しくは、**恩納村役場 総務課**（966－1200）までお問い合わせください。